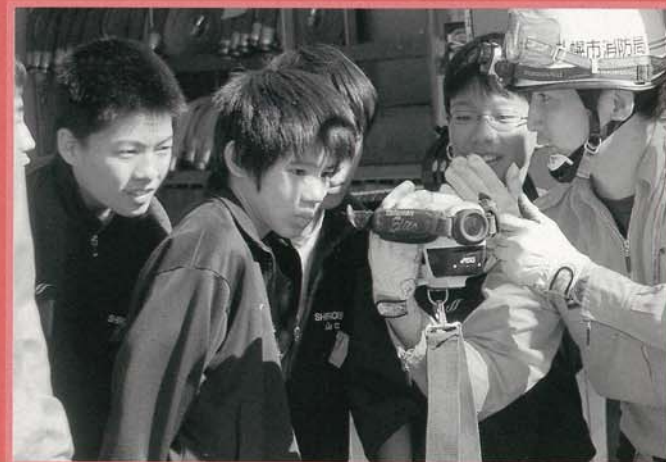




「一分一秒」の大切さ



thank you mail

札幌市立白石中学校 2年 高橋 直道

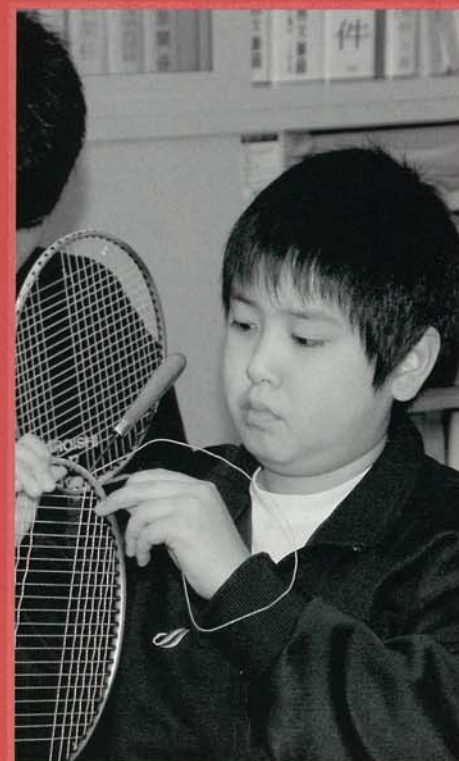
まず、一番最初の感想は「行ってよかった」と思えた事です。最初イメージしていたものとは違う想像をこえた仕事内容でした。最初学んだ事は命を守る仕事だという事です。消防の人たちがいないと、もしなにかあったときには対応できません。そういう立場にたった人たちの大切さが分かったでっ奉公でした。今回のでっ奉公で学んだ事をほかに学べる日はないと思っています。今回学んだ命を助ける大切さとか、失敗をしてはいけない責任感、失敗をしたとしてもそれをバネに進んでいく事を、将来に活かして成長していけたらいいと思いました。

毎朝通学の際に見掛けていた消防士の朝礼。「あんなカッコいいことをしてみたいと思っていた」と、この仕事に興味があったようです。憧れの防火衣を着させてもらいましたが、一人では困難。消防士の方々に手伝ってもらいながらやっと着用できたというほど重かったとのこと。「これを10秒で、自分一人で着る消防士はすごいと思った」と汗をかきながら話してくれた生徒たち。「すごく重くてきつくて、これで走るのもっと大変なことなんだろうなと思いました。テレビなどで見ているだけではわかりませんでした」「屈折車に乗せってもらったり、救助の際に使う大きな道具をたくさん見せてもらったり触らせてもらったりしました。見たことないものばかりだったので、貴重な体験ができました」と興奮気味。

「人を助ける為には、一分一秒も無駄にはできない。重大な責任を持って努めます」という消防士の言葉が、身に染み込んだ一日になりました。



「数字の管理」をしてわかったこと



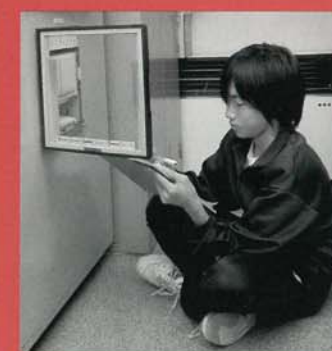
利用者が安全に運動ができる環境を作る仕事。壊れた道具を直したり、掃除をしたり、受付やポスターを貼り替えなど、様々な業務がありました。バドミントンのガット張りを体験し、緩まないようなコツを教えてもらい真剣な眼差しで作業を続けていました。「初めて挑戦したので難しく時間がかかって…」と、悪戦苦闘しながらなんとか完成。ポイラー室では2時間おきに目盛りを見に行き部屋の温度を測ります。目盛りが複雑で難しそうに見えましたが、何回かやってくると慣れた様子で堂々としたもの。

「温度の管理や、利用者の数を数えたり、運動用具の数を数えたり、使う人のことを一番に考えているんだとわかりました。楽しんで体育館を利用してもらうためにいろいろ苦労があるんだとびっくり。感動しました」と、いつも利用している体育館の裏側を見ることができましたね。

thank you mail

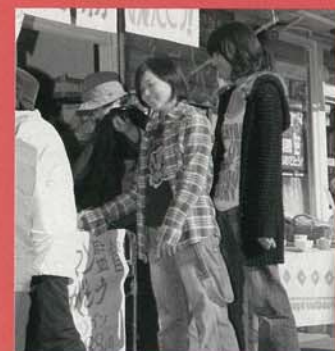
札幌市立白石中学校 2年 山口 大輝

お客さんとのコミュニケーションは、この職で一番大切だと思いました。白石区体育館の仕事は数字をだすことが多く多いですが、そのデータから利用者のことを一番に考えて働いていることが素晴らしいと感じ、それが一番大変そうでした。今できることは、勉強だと思えます。どんな職でも知識は大切だと思うから。見習いたいことは、利用者の前でいつも笑顔でいられるところすごく大切だと思いました。白石区体育館での仕事は意外に多く大変だったけど、その分得たものもたくさんありました。ありがとうございました。



「とにかくレジが楽しい！」

レジを触ってみたいと希望したというだけあって、レジ作業がとても気に入ったようです。「思った以上にたくさんのボタンがあって難しく見えたけど、すぐに覚えられてやっぱり楽しかったです！」。商品を袋に入れる作業を担当した生徒は「袋に入れるだけだと思っていたけど、商品に合う大きさの袋を選んだり、重いものには頑丈な袋を選んで入れたり、意外と大変でした」「レジをするくらいしか想像がつかなかったけど、店内の掃除や商品の整理、服を畳んだり、いろんな作業がありました」との感想。接客業に少しずつ慣れ、「いかがですか？」とお客さんに声をかける姿も見られました。責任の重い帳簿付けにもチャレンジ。「何か作業をしても、お客さんが来たときは挨拶をするんだよ」などアドバイスをしていただき、学べたことが多く「将来はやっぱり接客業がしたいです」と夢を語ってくれました。



thank you mail

札幌市立白石中学校 2年 山本 あみ

大変だったことは、お客さんの買ったものを袋に入れた時と、その袋を選ぶ時です。うれしかったことは、お客さんにありがとうと言われた時です。勉強になったのは、仕事の一つ一つ全てに、お客さんのためとか、大切な意味があるということです。今回は、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」を大きな声であまり言えなくて、えこふりいの人達は、みんな大きな声で言っています。これからは、職業体験で学んだことを生かしたいです。私は、えこふりいで働いたおかげで、仕事の大切さや大変さを学びました。



いつも笑顔で

三人ともこの仕事に興味があり、とても意欲的に取り組んでいました。最初から立ち膝でカメラを安定させる姿勢をとったり、「今話を聞いても大丈夫ですか？」と積極的に取材する姿は、初めてとは思えないなかなかのもの。慣れてくると疑問もたくさん出てきたようで「あまり身動きができない場所では、どうしたら動きのある写真を撮れますか？」「静かな所や集中している現場では、話をかけづらかったのですが、そういうときはどうしたら良いですか？」と、真剣な眼差しで質問をし、メモをとります。「一日の中でたくさんの人と会話を仕事なので、笑顔を忘れない。作業の邪魔にならないように、

thank you mail

札幌市立白石中学校 2年 佐藤 ちひろ

もともと興味があったのですべてが楽しく楽しかった。そしていろんなことを学べた。それは仕事に対することや普段の生活にも大事なことです。今回学んだことはこれからの生活や大人になって社会に出たときに使えることだからこれらからどんどん使っていきたいと思う。編集委員会に入ったので、でっ奉公で学んだ取材方法を活かしている人々に取材したりアンケートをとったりして、良い「しろいし」・「柏葉」を作りたいと思う。人の目を見て話すことや相づちを打つことなど普段の生活にも大事なことも学んだからそれも活かして学校生活を送りたい。

だけど積極的に質問をする」と教えていただいたのが印象的でした「少しでも知識を多く身に付けたいという生徒は「本をたくさん読み、言葉の意味というものを大切にしていきたいです」と話してくれました。

